日本建設機械化協会
J.C.M.A.

建設の機械化　1972年1月号　No. 263

目　次

□巻頭言　偶　感……最上武雄／1
□座談会　建設機械化の将来……／3
首都地震対策の構想……佐藤俊一／19
建設工事省力化への具体的道
　発注側より見た省力化……北野章／24
　受注側から見た省力化……安間泰介／27
□随　想　大学のこと……伊藤富雄／30
東北縦貫道土工工事の実態……関根栄一・桂木睦夫・松岡国太郎／32
利根川河口堰建設事業（その1）—事業概要—……君塚昇／44
グラビヤ——関門橋の架設現況
都市ごみの埋立処分に関する考察……栗原四郎／57
土木施工管理技術検定の実態……清水博／66
□建設機械化講座　第101回
　現場フォアマンのための土木と施工法
　XVII. 建設機械概説
　2. トラクタ系建設機械（その1）……本多忠彦／70
□研究所巡り
　建設機械化研究所……長瀬顕・木下秀一／74
　建設省土木研究所千葉支所……鈴木康一・島村進之助／77
□新機種紹介
　スノースイーパ……内藤寛／80
　ハマダ HB-2 工法（TALL-MAN Bucket 掘削方式）……浜田文男／82
□建設機械化研究所抄報
　試験研究報告（No. 82）……建設機械化研究所／83
□文献調査
　プレハブ壁材による地下連続壁の建込み……広報部会・文献調査委員会／85
　悪条件下における世界最大鐘状潜函の埋設……広報部会・文献調査委員会／87
　小形機で十分大形機に匹敵するスクレーパ作業……広報部会・文献調査委員会／89
行事一覧……／91
編集後記……（上東・島村・木下）／92

◀表紙写真説明▶

DYSTRED 988

クッショントラックローダ

キャタピラー三菱株式会社

米国 CATERPILLAR 社が新たに開発した本機は第三のローダといわれ，ホイールローダの車輪の外周部を特殊設計の履帯で覆ったもので，ダム工事，石灰石の原石積込み，砕石現場，製鉄所におけるノロ処理作業など過酷な条件下の積込作業でタイヤ経費を大幅に節減できる。

その機構は，特殊設計のドライバ（タイヤに相当する部分）によりホイールリムからトラック（履帯）にトルクを伝達し，かつ地面と機械との振動を吸収する。また独特のトラックアッセンブリによりドライバ部分の保護および横ぶれの防止など，設計上の工夫がなされている。

このように DYSTRED は従来のホイールローダの機動性と履帯式ローダの耐久性とを兼ね備えた画期的な機構である。